



石田まなみ NEWS

新型コロナウイルス感染症予防のための緊急事態宣言がひと段落したかと思えば、集中豪雨による浸水や土砂災害など、不安が続いています。十分にお気をつけてください。

福津市の大規模校解消の取り組みに対して



福津市は人口増加に伴い、小学校や中学校では児童・生徒数も増加。すでに福間小、福間南小、福間中は校舎増築などで運動場なども含めて手狭になっています。

休み時間に運動場でめいっぱい遊べない子どもたちを見ていると、この状況が長く続くのは子どもたちにとってもよい環境とは言えません。

「竹尾緑地に小中一貫5-4制の中学校を建設する案」が教育委員会から提案されていますが、現在は凍結、その他の「手光」候補地も含めての再検討が進められています。

竹尾緑地については環境保全や絶滅危惧種の生物が棲むことから、課題があげられています。また5-4制の小中一貫教育に対しても、これまでコミュニティ・スクールとして地域の中での繋がりを作ってきた教育に、小中9年間の中での縦の繋がりを築くというものですが、6年生と小学校との繋がりなど懸念はあります。

一方、手光については、具体的な学校建設案はまだ見えていませんが、こちらも校区再編成や郷づくりの再編成、予算の面などの課題があります。

どちらにも効果と課題が存在するのであれば、しっかりと比較しながら考えるのも大事だと思います。何より今、子ども達が狭い校舎で学校生活を送っている事を考えると、一番は子どもたちのためにどうするのかを考えるべきではないでしょうか。

6月議会において、「小中学校大規模解消に係る市民意向調査費」が補正予算で計上、可決されています。当事者である児童生徒やその保護者、これから学校に通わせる保護者の皆さんや、学校の児童生徒と直接関わっている先生方の思いを伝えながら、情報を集め、公開しながら大規模校解消に向けて皆さんと一緒に動きます。

ひとこと

6月議会では一般質問をしませんでした。理由は、コロナウイルス感染症に係る支援対策や給付金の手続きなど、何を優先すべきかと考えたら、市民に対する「支援」だと思ったからです。質問する代わりに、行政と一緒に行動をしようという事で、

3面に記載していますが、幸せの運び屋「ふくふく FOODS」などの支援活動をしました。

9月議会からは一般質問も再開し、地域、学校、子育て、福祉の課題を取り上げます。

新型コロナウイルス
感染症に関連した
福津市独自の第2弾の
支援策が決まりました。

オンライン学習環境整備 (GIGAスクール構想の実現)

小中学校のICT学習環境の整備および
児童生徒に1人1台のタブレット端末を

市内の事業者・生産者の支援

- * 市内の農水産品の生産者支援として
通販サイト「ECサイト」の開設、
商品のパッケージデザインや加工などを
地域商社と連携する
- * 市内の消費を活性化させる
(商品券発行増額、リフォーム券の発行)

子どもの育ちと子育てを応援

- * 子育ての孤立防止への取り組みを
市民団体と共働で推進
- * 子育て世代に地元産直施設で使用できる
買い物券の配布(0歳~中学3年生までの
子どもがいる各世帯に、1万円分の地元
産直施設で使用できる券を配布)
- * 病児保育所、学童保育所、保育所などの
感染防止対策
- * 乳幼児健診一部再開に伴う感染防止対策
- * 産後ケア事業の利用者受け入れに伴う
実施期間の感染防止対策

高齢者の孤立防止と生活困窮者の支援

- * ふれあいコール事業(外出等の自粛によっ
て会話する機会が少なくなった高齢者向け
のふれあい電話の設置)
- * 住宅確保給付金申請増加による拡充

ひとり親世帯臨時特別給付金

1.基本給付) 児童扶養手当を受給しているひとり親世帯の方への給付

<支給額>1世帯1回にかぎり

1世帯 50,000円

第2子以降ひとりにつき 30,000円

*申請は不要、8月ごろ2020年6月分の児童扶養手当を支給している口座に振り込まれます。

2.追加給付) 新型コロナウイルスの影響を受けて家計が急変し、収入が減少している方への給付

<支給額>1世帯 50,000円

*申請が必要です。申請期間は2020年8月から2021年2月末日まで。

現況確認時(8月)などに合わせて収入が減少している旨の申請を行っていただきます

・各対象用の申請書については市のHPからもダウンロードできます。

・その他、簡易な収入見込み額の申立書(給与明細、課税証明書、年金額確定通知書等)、本人確認書類(運転免許証、マイナンバーカード、パスポート等)、児童扶養手当を申請されていない場合は戸籍謄本または戸籍抄本と口座を確認できるもの(通帳やキャッシュカードの写し)も必要です。

お問い合わせは、福津市こども課(43-8124)まで

元気の運び屋「ふくふくFOODS」

緊急事態宣言中、学校が休校、給食が食べられなくなったことによる子どもの支援として、0歳児から高校3年生までの子どもがいる世帯に、4月30日（中央公民館）5月1日（カメラアステージ）の2日間、382世帯に食材を無料で配布しました。主催団体は市民ボランティア団体「ふくつながり」で、私もメンバーの一員として活動に参加してきました。

実施する前日には地元の企業や団体、たくさんの方のご協力で集まった食品を、スタッフ7名で三密（密閉・密集・密接）を避けて、消毒などにも十分気をつけて仕分けしました。

配布の際は、会場周辺の渋滞に注意しながらでしたが、ボランティアや市役所職員の方々を合わせて、無事に2日間を終える事ができました。

受け取った方からは、「仕事がなくなって生活が苦しい。」や「食材をいただけるのはありがたいです。」という声をいただきました。

急な申し出にも関わらず、ご賛同・ご協力いただいた諸団体・企業、また個人のみなさま、ありがとうございます。

6月からは、主体団体が市民ボランティア団体「どの子ども凸凹プロジェクト」になりますが、支援については継続していきます。

また家庭や職場からも食材の支援ができるように、市役所庁内に受け取り場となる「フードボックス（仮称）」の設置を担当課に働きかけています。



4/30（木）
5/1（金）



お問い合わせ先 090-2718-0369 石田まで



ふれあいコールについて



新型コロナウイルスの影響で外出ができなくなり、またZOOMなどオンラインでの交流もできず、話し相手がいなくて寂しい思いをしている方や、誰にも相談できず赤ちゃんの育児を頑張っている方のために、「ちょっと聞いて」感覚でできる事がないだろうか、という市民の意見を行政に届けた結果、まずは高齢者対象ではありますが、6月議会にて予算化され、可決しました。

内容については検討中ですが、市民の思いが形になるお手伝いができたことは私としてもうれしい限りです。

住民のくらしと

子どもたちの未来のために！



宗像市政に挑戦！！

みしま
三島たかゆき



社民党 福岡県連合 副代表

たけうち のぶあき
竹内 信昭



3月議会(2/25～3/18)の一般質問は「行政組織変更と市民共働について」です。

質問1

4月からの市役所内の組織変更について、一部郷づくり推進協議会への説明と理解が円滑に進まなかったという話も聞いたが、実際は？

市の答弁

市から郷づくり推進協議会への説明は、当初2月12日の事務局員会議において、郷づくりがよりよいものになるという意味の説明をしたが、準備を進めている段階で詳しい内容までは説明できなかった。しかしその後、3月9日に改めて郷づくりの会長に説明をしており、理解はされたものと認識している。

質問2

新設の「市民共働推進係」の役割と目的は？

市の答弁

郷づくり活動を含め、さまざまな個人や市民団体、NPOなどの共働、情報共有しながら、それぞれの特性を活かしながら、行政や地域、1つの団体では解決できない地域の課題を、みんなの力を合わせて(市民共働)解決し、より良いまちづくりを目指す。

私の考え

当初は説明が足らず、一部の郷づくりでは市が郷づくりを軽視していると受け止めたケースもある。市と郷づくりはパートナーであると市は常々言っているのにこんな扱いされてガックリしてしまったという声もある。しっかりと伝え、理解してこそ「説明会」なのではないか？

何度も召集をかけるのではなく、一度でしっかりと伝えられるような説明の仕方の工夫も必要なのでは。「決まった事」だけを伝えるのが説明ではないと思う。全体的に市からの説明は一方的な印象を受けるのが残念である。

「市民共働」を政策として進めていくのであれば、もう少し市民寄りの目線が欲しいところ。行政に関わる者や市民一人ひとりの「力を合わせていこう」という意識が重要だと思う。どちらか一方の思いのみではうまくいかない。それは日ごろからの積み重ねでもある。お互いの思いやりの気持ちが基礎にあって良いまちづくりができるのでは。

主な議案から

議案第13号「福津市部落差別の解消の推進に関する条例の制定について」

最近ではインターネットやSNSでの誹謗中傷などの差別なども起こっています。いまだに根深く残る差別、一人ひとりの人権を守るため一日も早く解消すべきことなので**賛成**。

結果は

賛成多数で
可決

議案第21号「福津市国民健康保険税条例を改正することについて」

仕事をしていない人も健康保険には加入しなければなりません。非正規労働やひきこもりが増えている現状では、保険税の負担が生活をより一層苦しめています。もともとは病気の早期発見などの目的の健康保険制度なので、国がしっかりと支えるべきではないでしょうか。自治体へ丸投げによる保険税値上げと考えます。健康保険の前身でもある「定礼制度」発祥の地・福津市の一員としても、国民の生活と健康を守るために**反対**します。

結果は

賛成多数で
可決

石田の
考え

その他

議案第25号「福津市エンゼルスポット条例の廃止について」

についても、利用者の利便性や中学生や高校生に対する安全対策が万全とは思えないので反対しましたが、賛成多数により可決されました。

